

鳥取県東部圏域医療・介護連携に係るアンケート再調査について

東部地区在宅医療介護連携推進協議会
東 部 福 祉 保 健 事 務 所

調査目的: 医療と介護の連携状況についての現状を把握し、体制整備等の基礎資料とする。

調査対象: 居宅介護支援事業所・小規模多機能型居宅介護事業所に所属されている介護支援専門員
地域包括支援センターに所属され、ケースを担当されている方

調査項目: 担当ケース数(※介護認定された方)
担当ケースのうち平成29年11月に退院したケース数及び病院からの引き継ぎ状況
担当ケースのうち平成29年11月に入院したケース数及び入院時情報提供書送付件数
連携体制で問題と感じた事例や事項等

調査方法: 自記式ファクシミリ調査(無記名)

結果概要: 対象:111施設 回答:95施設 回収率:85.6%

(内訳)居宅介護支援事業所 63/71 事業所(回収率 88.7%) 回答(ケアマネ)数 158
小規模多機能 " 24/31 事業所(回収率 77.4%) 回答(ケアマネ)数 26 } 計238名
地域包括支援センター 8/9 事業所(回収率 88.9%) 回答(ケアマネ)数 54

担当ケース数(回答されたケアマネ等が担当されている介護認定された高齢者数(総数))

所 属	介護(うち11月退院)	予防(うち11月退院)	計(うち11月退院)
居宅介護支援事業所	4,760 (153)	909 (13)	5,669 (166)
小規模多機能 "	452 (8)	43 (0)	495 (8)
地域包括支援センター	3 (0)	1,308 (30)	1,311 (30)
計	5,215 (161)	2,260 (43)	7,475(204)

《結果》 東部圏域の退院調整率(H29年11月)・・・78.4% [退院調整もれ率 21.6%]

退院調整率【介護・予防別】

給付区分	退院 件数	連絡有 件数	退院 調整率	連絡～退院 平均日数
介護	161	129	80.1	10.8
予防	43	31	72.1	7.1
計	204	160	78.4	9.9

入院時情報提供書送付率【介護・予防別】

給付 区分	入院 件数	情報提供書 送付件数	情報提供書 送付率
介護	196	123	62.8
予防	47	12	25.5
計	243	135	55.8

退院調整率【医療機関別】

病院 記号	介 護		予 防		全 体	
	退院 調整率	連絡～退 院 平均日数	退院 調整率	連絡～退院 平均日数	退院 調整率	連絡～退院 平均日数
A	100.0	8.9	88.2	4.5	94.7	7.1
B	71.9	9.8	33.3	4.3	61.4	9.0
C	85.0	17.4	100.0	11.7	88.9	15.8
D	100.0	11.1	100.0	0.0	100.0	10.2
E	62.5	5.3	0.0	0.0	62.5	5.3
F	68.2	8.9	100.0	1.8	76.7	6.8
G	100.0	6.5	33.3	30.0	77.8	10.3
H	83.3	7.6	100.0	3.5	87.5	6.4
I	100.0	7.0	100.0	21.3	100.0	11.8
J	100.0	16.4	0.0	0.0	100.0	16.4
K	100.0	24.0	0.0	0.0	100.0	24.0

◆連携上の問題あり 35.7% (238名中85名が「有」と回答) (複数回答)

問題と感じた事例・項目	回答数 (%)
病院からの連絡が退院直前で対応に慌てた	59名 (24.9%)
病院の対応窓口が明確でなかった	12名 (5.0%)
主治医の理解がなかった(医療介護連携の必要性等)	11名 (4.6%)
病院からの説明が、医療専門用語が多く、理解できなかった	6名 (2.5%)
病院が介護保険の仕組みを理解されていないと感じた	31名 (13.0%)
その他	18名 (7.6%)

◆連携する上で問題・課題と感じた事例・項目 (自由記載抜粋) : 61件の意見あり

【病院の窓口に関すること】

- 入院時連絡シート提出先 (病棟なのか連携室なのか) が曖昧。退院時も同様
- 退院支援の窓口が連携室なのか病棟看護師なのか不明

【病院からの連絡に関すること】

- 急に退院が決まり、知らない間に退院され家族からの連絡で退院を知った。
- 入院時情報提供書提出をしているのに何も連絡がない。
- 入退院を繰り返す利用者は、本人・家族・病院からも連絡がない
- カンファレンスの日程が直前に対応できないこともある
- 退院前には連絡をいただくよう依頼していたが、連絡はなく翌日が退院日であると不安を感じたご家族からの連絡となった
- いつの間にか入院しており誰からも連絡がなくて訪問しても不在で焦った。知らない間の入退院が多い。福祉用具の利用等サービス調整があると困る

【連絡 (情報提供) 内容に関すること】

- 病院の都合で退院日を決めたり、経済面や自宅環境を考慮しないで退院後のサービスを提案してくるケースがある
- 情報提供がきちんとされない (具体的には入院中の治療経過は極めて簡単で、退院後のサービスのことばかりあれこれ言う等)
- 引継に際して看護サマリー等は、入院中の経過だけでなく退院後に予想される医療面からのニーズやケアのポイント等記載があるとありがたい。退院前の情報が事前に欲しい

【介護保険制度についての理解不足・認識不足に関すること】

- ケアプランを勝手にソーシャルワーカーが決めていて困った
- 必要ない変更申請をすすめる
- 病院の SW で退院後のサービスを勝手に決めておられた事があり、ケアマネジメントを理解されていないと感じた。病院 SW がすでに有料老人ホームの退院先を決め、急な退院連絡をもらいかなり困った。有料を決める前にケアマネを先に決めてもらいたい
- ケースワーカーが福祉用具、事業所、訪問看護事業所に直接支援され、福祉用具はすべて納品。看護師で話しが進んでおり、他の生活状況の把握が不十分なまま退院準備がすすめられていた。まず、介護支援専門員に連絡が最初だと思う
- 介護保険制度の利用希望や必要性の有無に関係なく、お守りとして、急性期の時点で介護保険の申請をし、結果的に退院時状態に全く合っていない介護度であったり、制度の利用なしの場合があることは問題だと思う

【その他】

- 新規在宅復帰ケースでは家屋調査から関わられた（入院後すぐに連絡がありリハスタッフともよく協議できた）軽症でも病院から連絡・情報提供があるためとても助かっている
- 退院前カンファレンスの時病名、経過、退院後の注意事項等の書類があったがわかりやすかった。
- 退院時に介護保険の申請をするとき、主治医の意見書をどこで書いてもらうか。病院は開業医にお願いしてと言われるが入院中主治医が書いてもらえるとスムーズと思う
- 以前より連携しやすくなった

◆統一様式「介護・医療連携シート」の活用について

	活用あり	活用なし	未回答	計
居宅介護事業所	96	31	31	158
小規模多機能型	5	11	10	26
地域包括支援センター	1	28	15	54
計	112	70	56	238

「活用していない」理由

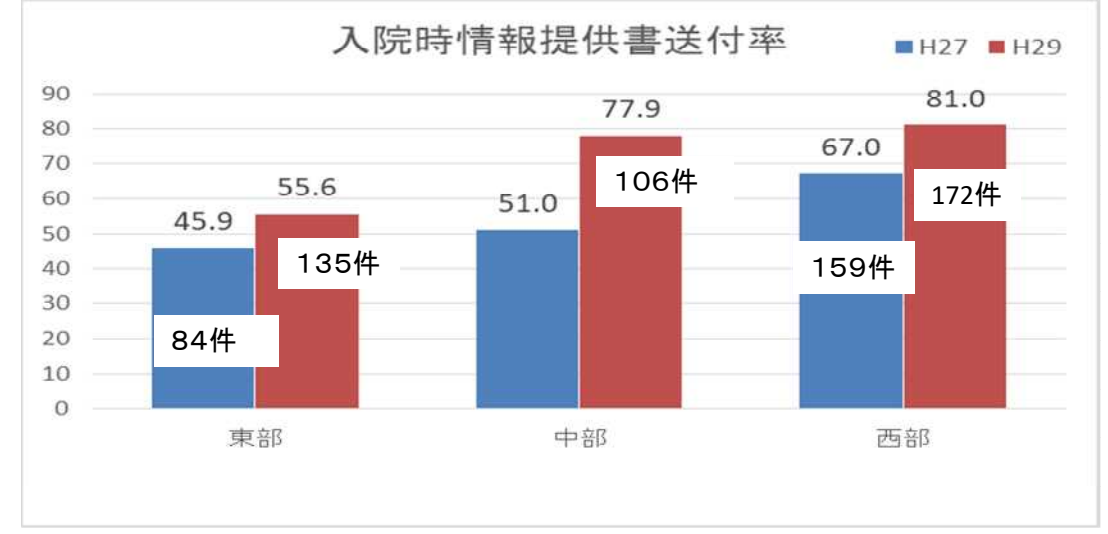
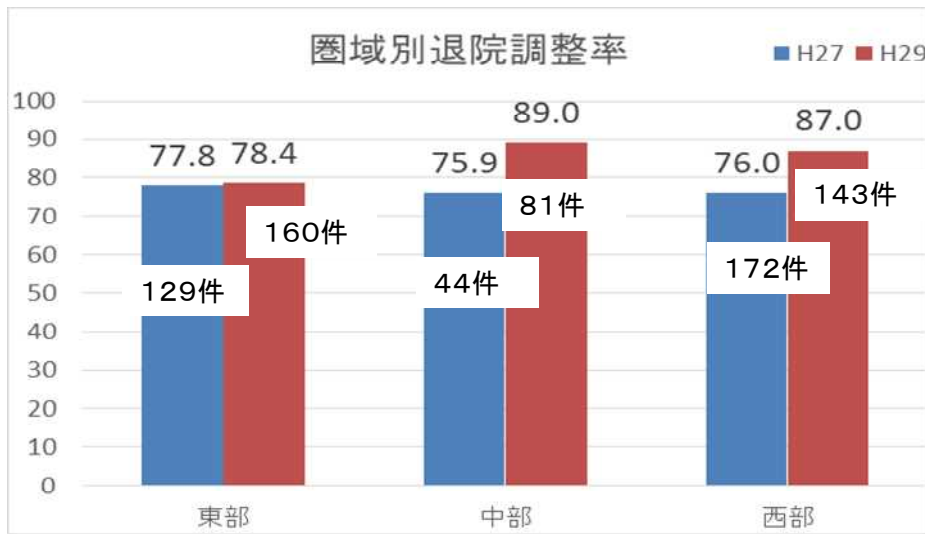
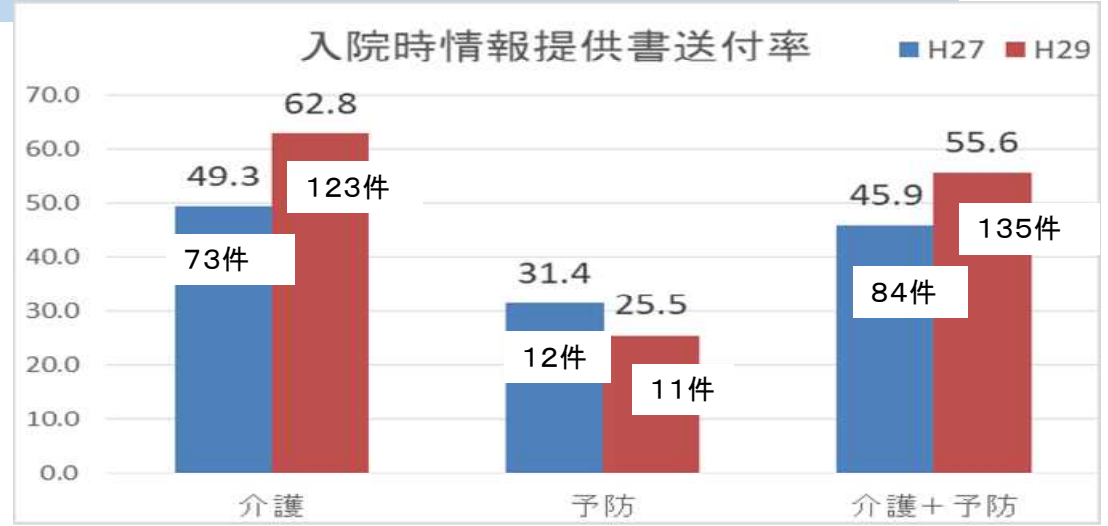
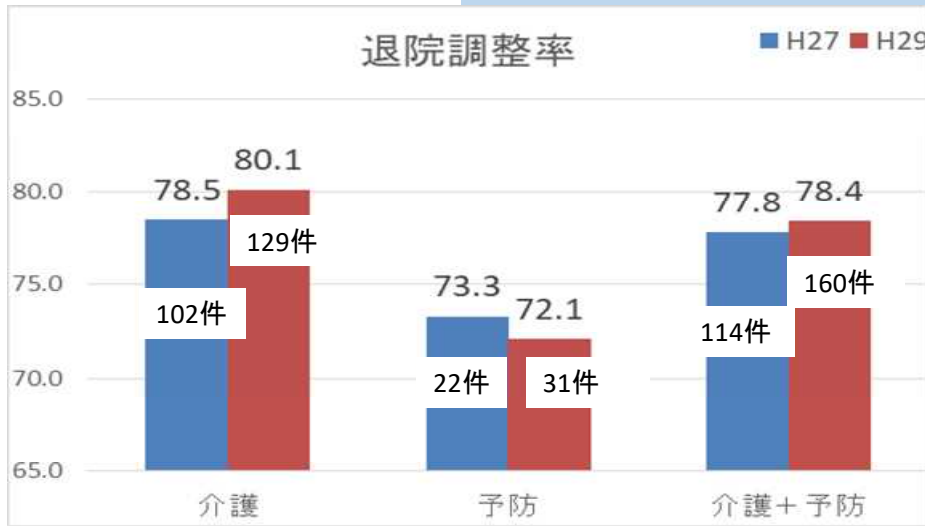
理由	人数
「介護・医療連携シート」の存在を知らない	11人
「介護・医療連携」シートは知っているが、使いづらい	15人
他のシートを使っている	17人
その他	9人

◆統一様式への意見（自由記載抜粋）：53件の意見あり

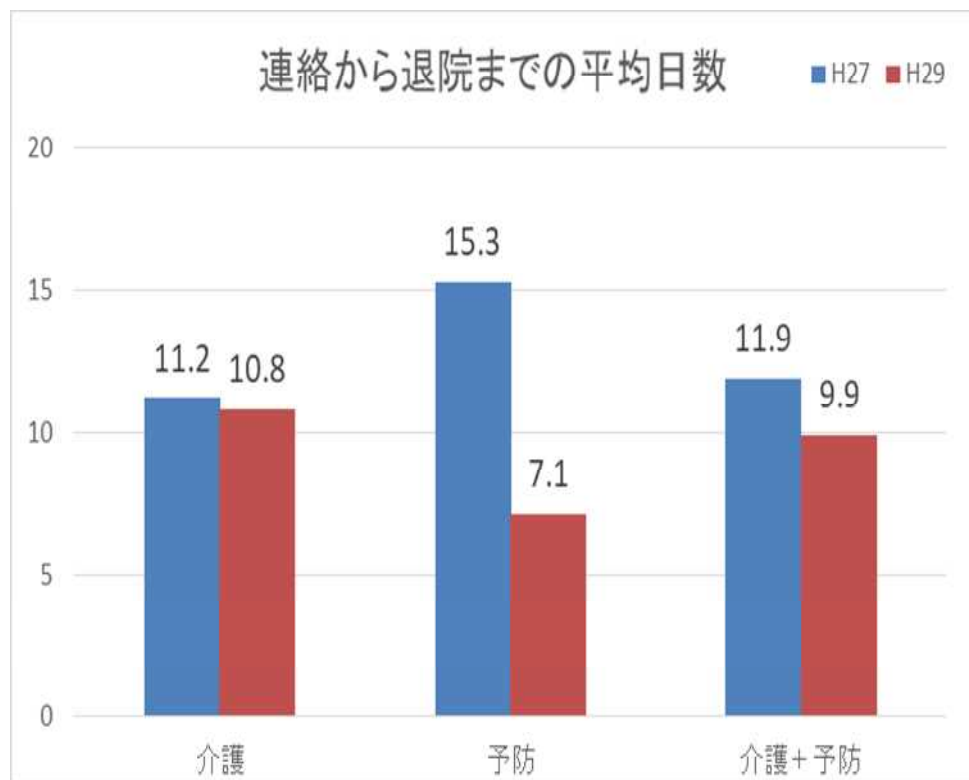
- 記入することが多すぎる
- 枠が狭く記入しづらい。在宅の経過等狭すぎる為別紙を添付している。2枚になれば少し記入しやすくなるのではないのでしょうか
- 受取の署名がかけるようにしてほしい
- 項目によって文字の大きさが違い統一感がない
- 字が小さくなりみにくいと言われた。提出したシートがどう活用されているか、転院先に行っているのか動向が知りたい
- 記入する欄が細く記入しにくい
- 様式が細かすぎる、字が小さいため見にくい。記入スペースが小さく、伝えたいことが書けないことがある
- ①利用者の緊急連絡先の方の住所記入欄の追加をお願いします
②サービス利用状況の中に小規模多機能も入れていただきたい・認知症がADLに及ぼす影響についてほとんど記載できない（受け取った側は認知機能の状況を読み取れない）
- シートは使わず、直接電話で連携をとっている。要支援には連携加算がない
- 「介護医療連携シート」の使い方について、介護や医療に使い方の周知をしてほしい
- よくわからない。どのような様式か教えてほしい

アンケート調査結果

退院調整率・入院時情報提供書送付率



病院からの連絡から退院までの平均日数

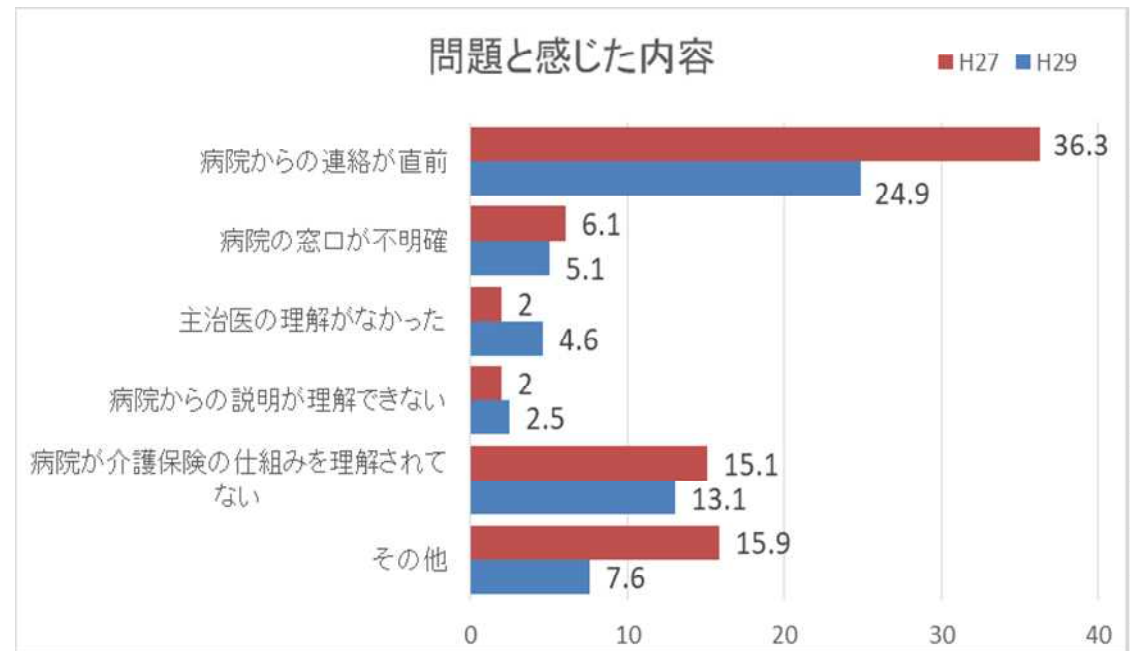
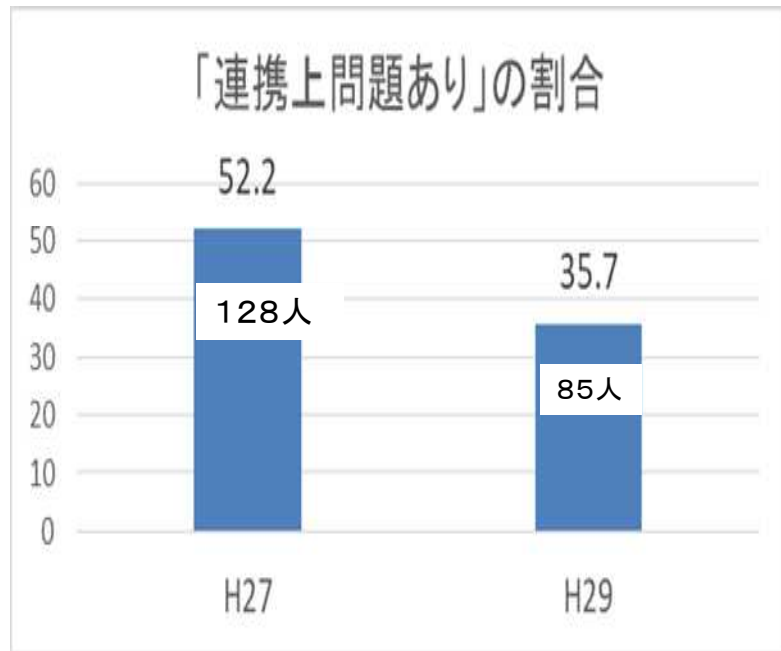


- ◆平成27年と比べ、連絡～退院までの日数は短くなっている。特に「予防」では半減している。
- ◆連絡～退院までの日数は、最小0日～最大64日と幅があった。
- ◆「0日」と回答があったのは、7件あった

病院別退院調整率及び連絡～退院までの平均日数

病院記号	年度	介 護		予 防		全 体	
		退院 調整率	連絡～退 院	退院 調整率	連絡～退 院	退院 調整率	連絡～退 院
A	H27	68.0	6.8	80.0	18.3	71.4	10.4
	H29	100.0	8.9	88.2	4.5	94.7	7.1
B	H27	80.0	8.6	50.0	13.0	77.8	7.2
	H29	71.9	9.8	33.3	4.3	61.4	9.0
C	H27	82.4	16.1	40.0	12.0	72.7	15.6
	H29	85.0	17.4	100.0	11.7	88.9	15.8
D	H27	93.3	6.7	100.0	16.0	94.7	8.8
	H29	100.0	11.1	100.0	0.0	100.0	10.2
E	H27	81.3	7.0	—	—	81.3	7.0
	H29	62.5	5.3	—	—	62.5	5.3
F	H27	60.0	5.7	66.7	6.8	63.6	6.3
	H29	68.2	8.9	100.0	1.8	76.7	6.8
G	H27	75.0	39.3	100.0	—	77.8	—
	H29	100.0	6.5	33.3	30.0	77.8	10.3
H	H27	66.7	9	—	—	66.7	9
	H29	83.3	7.6	100.0	3.5	87.5	6.4
I	H27	100.0	11.5	100.0	17.0	100.0	12.6
	H29	100.0	7.0	100.0	21.3	100.0	11.8
J	H27	0.0	—	100.0	45.0	50.0	45.0
	H29	100.0	16.4	—	—	100.0	16.4
K	H27	100.0	20.3	—	—	100.0	20.3
	H29	100.0	24.0	—	—	100.0	24.0

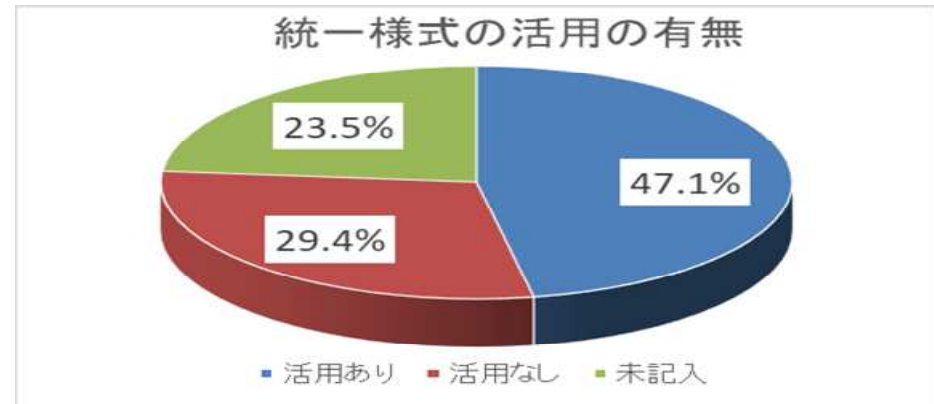
連携上「問題あり」



- ◆「連携上問題あり」と回答した人は、平成27年度と比較し16.5ポイント減少。
- ◆内容は病院からの連絡が直前が一番多く、約4分の1を占めている。次いで、「介護保険の仕組みの理解」が続く。

統一様式「介護・医療連携シート」の活用

	活用あり	活用なし	未回答	計
居宅介護事業所	96	31	31	158
小規模多機能型	5	11	10	26
地域包括支援センター	1	28	15	54
計	112	70	56	238



【活用しない理由】

理由	人数
「介護・医療連携シート」を知らない	11人
「介護・医療」連携シート」が使いづらい	15人
他のシートを使用	17人
その他	9人

- ◆約半数は「介護・医療連携シート」を活用されている。
- ◆シートを知らない人が11人。

課題と今後の取り組み方針

- (1) 退院調整率は、平成27年度と比べ横ばいであった(ほぼ改善していない)
他圏域と比べ10ポイント近く差がついている
- (2) 入院時情報提供書送付率は、5割を超え増加したが、他圏域と比べ20ポイント近く差がある
- (3) 統一様「介護・医療連携シート」が使いづらい。書きにくい等意見多数あり

◆今後の取り組み(案)◆

- ①意見の中に「窓口がわからない」等あり
→窓口の再確認と周知(一覧表の作成・送付)
- ②病院訪問を実施し、入退院情報提供について検討
→情報共有や連携上で課題となること改善方法を検討する
必要であれば、入退院情報共有ルール化を図る
- ③目標値の設定(案)
入退院調整率を90%を目指す
- ④統一様「介護・医療連携シート」の改善